

「安心▷ 誇り▷ 挑戦 ひろしまビジョン」改定について

R8.3 経営企画チーム

1 改定の趣旨

10年後を展望して策定した「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」（令和2年10月策定）」について、令和8年6月定例会での改定に向けて見直しを行う。

2 今後のスケジュール（予定）

※ 令和7年8月に第3回総合計画審議会で骨子案について審議

日程	内 容
2月9日、13日	総合計画審議会第7～8回小委員会（改定素案の審議）
3月25日	第4回総合計画審議会（改定素案の審議）
3月30日	総合計画審議会【答申】
4月中旬	県議会全常任委員会、DX推進・行財政対策特別委員会 （改定素案の説明）
（常任・特委後）	パブリックコメント開始
5月中旬	県議会DX推進・行財政対策特別委員会《改定素案の集中審議》
6月中旬	6月定例県議会 改定案（議案）提出

3 骨子案からの主な変更点 別紙参照

（1）「ビジョンの目指す姿」の記載内容変更（資料2 P30、33、36）

【変更前】

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

【変更後】

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれのが望むライフスタイルの実現～

（変更理由）

- 「欲張りなライフスタイル」は、仕事と暮らしを別々と捉えた表現であったが、DXの進展や働き方の多様化により、仕事と暮らしを一体的に考える柔軟な働き方が個人の幸福や生産性向上の実現に不可欠になってきているため、表現を修正

(2) 改定のポイント「目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性」の記載内容変更
(資料2 P16、30、40)

【骨子案】R7.8.21 総合計画審議会第6回小委員会、R7.8.28 第3回審議会資料での記載

シン・ファミリーフレンドリー

“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

家族と一緒に暮らしやすい社会を実現することは、単身世帯やひとり親世帯、高齢世帯など、どのような世帯の人にとっても暮らしやすい社会につながるという「ファミリー・フレンドリー」を深化・進展・浸透させ、情勢変化に応じた「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

【改定素案（変更前）】R8.2.9、13 総合計画審議会第7、8回小委員会資料での記載

シン・ファミリーフレンドリー

“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

子供がいる家庭、高齢者がいる家庭、障害者がいる家庭、ひとり親家庭など、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

【改定素案（変更後）】R8.3.25 第4回審議会資料での記載

シン・ファミリーフレンドリー

“家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

~~子供がいる家庭、高齢者がいる家庭、障害者がいる家庭、ひとり親家庭など、~~
本県の魅力を高め、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても、魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

※ ここでいう「家族」とは、子供の有無や人数、性別に関わらず、様々な形態の家族を言い、こうした家族が暮らしやすい社会を実現することで、県民一人一人が暮らしやすい社会につなげたいという考え方です。

(変更理由)

- 現に広島に住んでいる、住んでいないに関わらず、広島に魅力を感じてもらい、将来的に広島に住みたい、関わりたいと思ってもらえるような県にしたいという考えから修正
- 「家族」には様々な形があることが分かるよう、改定素案（変更前）では家族を例示したが、かえって特定の形態を想起させてしまうことから、例示を削除し、補記を追記

(3) 改定のポイント「今後5年間で特に注力する重点項目」の変更

(資料2 P28～29、31)

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none">・若者応援・子育て応援・女性応援・外国人応援・強固な経済基盤の確立	<ul style="list-style-type: none">・若者<u>に選ばれる広島県</u>・女性<u>に選ばれる広島県</u>・子育て<u>しやすい広島県</u>・強固な<u>社会</u>経済基盤の確立・<u>広島</u>の財産と経験の継承

(変更理由)

- どのような広島県にしていきたいかが分かるように表現を修正
- 県民の皆様が夢や希望をあきらめることなく挑戦するためには、経済基盤だけでなく、社会基盤も重要であることから、「社会経済基盤」に表現を修正
- 広島が持つ強みや魅力を通じて、本県でしか得られない価値を提供するとともに、それらの財産を将来世代に引き継いでいくことも重要であることから、「広島の財産と経験の継承」を追加
- 「外国人応援」は、「若者」、「子育て」、「女性」、「強固な社会経済基盤の確立」に包含されるものとして修正
- それぞれの説明文に、取組内容等を追記

(4) 施策領域の指標等の設定 (資料2 P51～)

(変更内容)

- 施策領域ごとの説明記載の中に、新たに「指標」、「目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題」、「目指す姿の実現に向けた取組の方向の内容」を追記

基本理念

将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

目指す姿

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現～

[目指す姿の実現に向けた基本的な考え方]

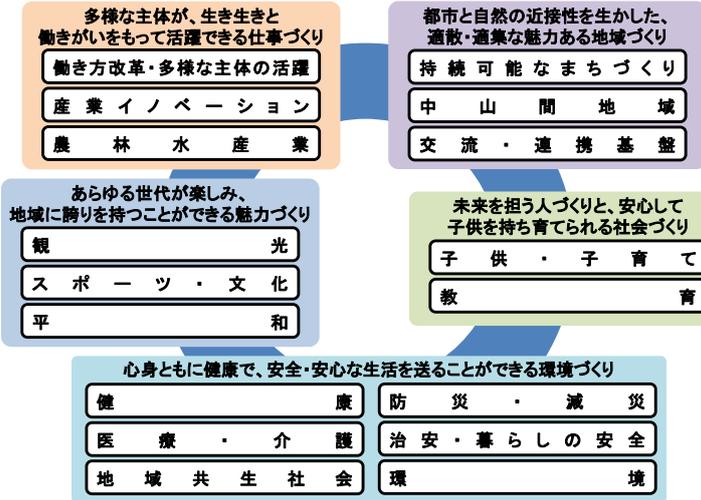
- (1) 県民の挑戦を後押し (2) 適散・適集な地域づくり

目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性

シン・ファミリーフレンドリー “家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

家族と一緒に暮らしやすい社会を実現することは、単身世帯やひとり親世帯、高齢世帯など、どのような世帯の人にとっても暮らしやすい社会につながるという「ファミリー・フレンドリー」を深化・進展・浸透させ、情勢変化に応じた「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

目指す姿の実現に向けた施策の柱と17の施策領域



今後5年間で特に注力する重点項目

Table with 4 columns: 若者応援, 子育て応援, 女性応援, 外国人応援. Includes a section for 強固な経済基盤の確立 (Strengthening the Economic Base).

基本理念

将来にわたって、「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

変更点(1)

目指す姿

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています～仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれが望むライフスタイルの実現～

[目指す姿の実現に向けた基本的な考え方]

- (1) 県民の挑戦を後押し (2) 適散・適集な地域づくり

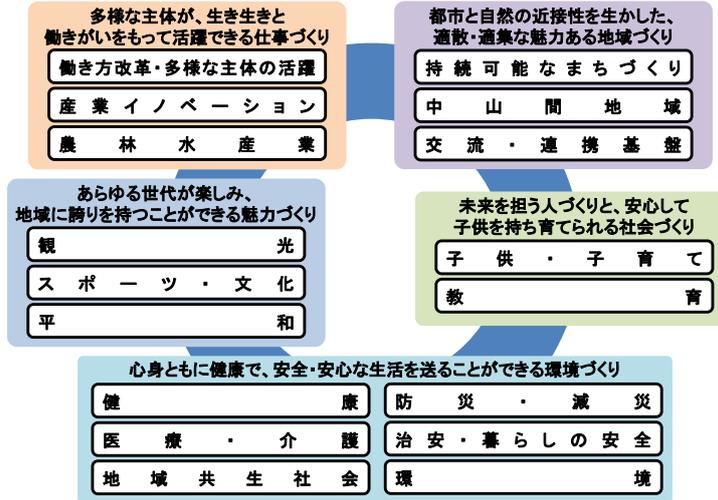
目指す姿の実現に向けた今後5年間の方向性

シン・ファミリーフレンドリー “家族で暮らしやすいまちは、誰もが暮らしやすい”

本県の魅力を高め、様々な家族が暮らしやすい社会を実現することは、誰にとっても暮らしやすい社会につながります。ひいては、本県を訪れる人にとっても、本県に関わる人にとっても魅力的に感じてもらえる「シン・ファミリーフレンドリー」な広島県を創っていきます。

変更点(2)

目指す姿の実現に向けた施策の柱と17の施策領域



今後5年間で特に注力する重点項目

変更点(3)

Table with 3 columns: 若者に選ばれる広島県, 女性に選ばれる広島県, 子育てしやすい広島県. Includes a section for 強固な社会経済基盤の確立 (Strengthening the Socio-Economic Base).

広島県の財産と経験の継承

広島には、瀬戸内海の島々が織りなす多島美、田畑が広がる豊かな原風景や食文化、地域に根差したスポーツチームや文化芸術、そしてグローバルに展開するものづくり産業など、多様な宝があります。こうした広島が持つ強みや魅力を通じて、本県でしか得られない価値を提供するとともに、それらの財産を将来世代に引き継ぎます。

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」している広島県の実現